

全役員の再任を承認

首都圏MP協総会開く

首都圏ミートバック
輸出推進協議会(代表理
事「阿部昌史・朝ミート
・コンパニオン代表取締
役」はこのほど、第13回
定期総会を開催。令和6
年度事業報告や7年度事
業計画などを審議し、上
程全議案が原案通り承認
された。

任期満了に伴う役員選
任では代表理事に阿部
氏、副代表理事に原田知
昌、齋藤義一の両氏、理
事に吉田敬彦、森島一、
宮健一、河上貴一、柴原
篤史、宮下義史、小原和
也、山田彰男の各氏を再
任。さらに会計監査役は
植井敏夫氏を再任した。
令和7年度も販売促進
活動のために専門家・
海外バイヤーらを派遣・
招へいして日本産畜産物
の輸出拡大を図る。

阿部代表理事はあいさ
つで「日本産牛肉の輸出
は一時的に伸び悩んだ時
期もあったが、近年は2
年連続で過去最高を更新
し、堅調に推移してい
る。2025年に入り、
米国における関税措置の

影響で輸出の先行きには
依然として不透明な要素
が残っているが、中国向
け輸出再開の見通しが立
ち始めており、今後の需
要拡大にも期待が高まっ
ている」

「このよきな流れを好
み、招へい事業が実施
されているので、ぜひ活
用していただきたい」と
呼びかけた。

「今年度も輸出力強化
への支援策として、当協
議会が加入している日本
畜産物輸出促進協会実施
の販売促進活動のための
派遣・招へい事業が実施
されているので、ぜひ活
用していただきたい」と
呼びかけた。

機と捉え、情勢の変化を
注視し、新たな輸出先の
開拓にも取り組んでいく
必要がある。海外市場へ
の輸出は、和牛の需給バ
ランスの安定や適正な価
格形成に不可欠な要素で
あり、需要喚起に向けた
取り組みが求められる」

「今年度も輸出力強化
への支援策として、当協
議会が加入している日本
畜産物輸出促進協会実施
の販売促進活動のための
派遣・招へい事業が実施
されているので、ぜひ活
用していただきたい」と
呼びかけた。